

令和2年
伊豆市議会9月定例会

一 般 質 問

令和2年9月

令和2年伊豆市議会9月定例会一般質問者と質問事項

8月21日（金）午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る も の	ページ
1	7. 杉山 武司	1 予防伐採による停電防止対策を伺います	市 長	1
2	4. 間野みどり	1 伊豆市の小中学校のトイレ洋式化の現状と検討について	教育長	3
		2 オストメイトトイレのその後について	市 長	
		3 防災に関する様々な問題点について	市 長	4
3	2. 山口 繁	1 文教ガーデンシティ事業について	市 長 教育長	5
		2 人口減少問題について	市 長	7
		3 庁内組織のありようについて	市 長	8
		4 市内産業の活性化について	市 長	9
4	14. 杉山 誠	1 若者・女性の声を市政に反映させる仕組みづくり	市 長	10
		2 「田園回帰」志向をとらえた移住・定住策の積極的な推進	市 長	11
		3 コロナ禍で懸念される、子どもの定期予防接種の遅れへの対応	市 長	
5	12. 小長谷朗夫	1 今後の伊豆市教育行政推進について	教育長	12
		2 給食無償化の今後の行方	市 長 教育長	

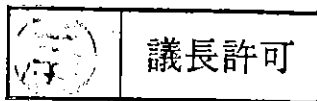
令和2年伊豆市議会9月定例会一般質問者と質問事項

8月24日(月)午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る も の	ページ
6	10. 永岡 康司	伊豆総合高校土肥分校の現状と課題について	市 長 教育長	14
7	11. 小長谷順二	1 Withコロナ・ポストコロナがもたらす新しい生活様式	市 長 教育長	15
		2 台風シーズンを迎える避難所運営について	市 長	16
8	15. 森 良雄	1 防犯カメラ	市 長	17
		2 働き方改革	市 長	18
		3 アーカイブス アーキビスト	市 長 教育長	19
		4 修善寺南小学校のトイレ	市 長 教育長	20
		5 ウイズコロナ	教育長	
		6 アフターコロナ	教育長	
9	6. 下山 祥二	1 森林の再生と活用の取組みについて	市 長	
		2 公共施設と適正管理と今後のあり方について	市 長 教育長	22
10	13. 西島 信也	1 伊豆市都市計画の見直し	市 長	23
		2 クリプトスポリジウム原虫の発生	市 長	24

8月25日(火)午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る も の	ページ
11	16. 木村 建一	1 コロナ禍の休校要請に対する教育委員会の検討過程について	教育長	25
		2 コロナ禍での「より良い学校教育環境」への課題	教育長	
		3 観光関連の経済とコロナ対策を両立させる方針は	市 長	
		4 準要保護世帯への就学援助対象を広げることに対する見解を求めます	教育長 市 長	26
12	1. 波多野靖明	1 伊豆市のエネルギー資源について	市 長	27
		2 区、自治会組織の存続について	市 長	28
13	9. 青木 靖	1 コロナの影響で遅れている事業と見通し	市 長 教育長	30
14	8. 三田 忠男	1 行政施策立案時における議会・市民意見の取り扱いについて	市 長 教育長	32
		2 各種施策の実現に向けて、議会と行政の関係について	市 長 教育長	
		3 各種施策の実現に向けて具体的な事業実施について	市 長	



発 言 通 告 書

下記のとおり発言したいので通告します。

令和元2年8月12日

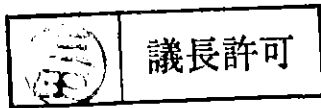
伊豆市議会議長 様

議席番号 7 議員名 杉 山 武 司

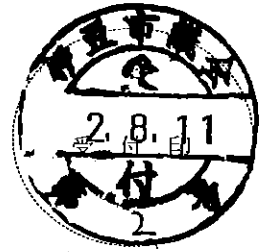
No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1 予防伐採による停電防止対策を伺います	<p>毎年、台風等による倒木によって全国各地で停電の被害が発生しています。長期に亘る停電は住民の日常生活や経済活動に大きな影響を与えます。被害の抜本的な解消は事前に障害となる樹木の伐採をするしか方法はありません。更に近年送電線付近に立ち枯れ木が多く見受けられます。</p> <p>静岡県東部地域では昨年9月の台風15号では延べ139回線の停電が発生し全復旧まで51時間を要し、10月の台風19号では10月12日15時より延べ172回線が停電し10月14日の22時の全復旧まで53時間を要しました。伊豆市内では約600軒の停電が発生した模様です。</p> <p>最近、静岡県東部地域局は停電の未然防止策の推進を図るため、東部地区の市町と電力会社との連絡会を開催し連携強化策を構築しました。予防伐採の実施方法については、事業者の保安伐採に自治体が土地所有者との調整で協力する。更に自治体などが森林整備・管理や道路維持の事業の一環として伐採するとしていますが、送配電設備がある国や県、市町の官公有地が16%なのに対し私有地は84%で、停電被害の防止策を図るためには民間地権者の理解と協力が不可欠とされていますが、以下の点について伺います。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>①7月29日に初会合が開催されたようですが、この件についての伊豆市としての対応方針をお示し願います。</p> <p>②自治体は率先して停電の防止対策を進め、市民に対し適切に情報を発信することにより理解を得ることが求められていますが、伊豆市として現在の対応状況は如何ですか。</p> <p>③自治体と事業者が調整して予防伐採箇所の選定をして順次着手するとしていますが、地域の要望の取扱いを伺います。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2年 8月11日

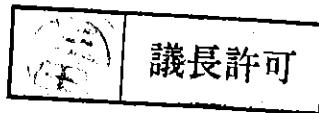
伊豆市議会議長 様

議席番号 4 議員名 間野 みどり

No. 1

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> 質疑・反対討論・賛成討論・その他()		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 伊豆市の小中学校のトイレ洋式化の現状と検討について	<p>3月の本年度の予算で修善寺南小学校のトイレの改修費が可決され、その子ども達や親は大変喜んでいるようです。</p> <p>その事を機に、老朽化が目立つ、他の小中学校の現状を心配しました。</p> <p>そこで質問します。</p> <p>①伊豆市の小中学校のトイレの洋式化はどのような現状ですか。このような状態をどのように捉えていますか。</p> <p>②6月の定例会の一般質問の防災や新型コロナウイルス感染症の関係では、感染予防や老人使用等の理由から、トイレの和式も需要があると聞きました。高齢者は洋式の方が利用しやすいと考えますが、その点はどう思われますか。</p> <p>③トイレについて、今後の計画等ありましたら、教えて下さい。</p>	教育長
2. オストメイトトイレのその後について	<p>月ヶ瀬道の駅のオープンで、再認知するきっかけにもなり、オストメイトトイレが以前より少しずつ市民の中に浸透しつつあると思います。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>3. 防災に関する 様々な問題点について</p>	<p>令和元年2月の一般質問後、安西様から2つの簡易オストメイトの寄付もありました。</p> <p>オリンピック、パラリンピックが延期になった時期でもあり、市の方ではその後どのようなになっていますか。</p> <p>今、新型コロナウイルス感染症の問題が最大化している中、防災に対する考え方も日々変化しています。</p> <p>もしもの時の避難所については、“三密を避けた避難所”“プライベート空間をとった避難所”等が求められています。</p> <p>今までの東日本大震災や熊本大地震、九州における豪雨災害等の大きな災害を経験された方達は、その他にも様々な問題点を提示してくれています。</p> <p>例えば、女性のDV被害者の避難所、虐待の疑いのある子どもの避難所、障害のある方や妊婦等の避難所等です。</p> <p>特に女性の立場から避難所に対して、不安も多くあります。</p> <p>今後、これらを踏まえて、伊豆市では避難所についてどのように考えていますか。また今後の取り組み等ありましたら教えてください。</p>	<p>市長</p>



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和2年8月12日

伊豆市議会議長 三田 忠男 様

議席番号 2 議員名 山口 繁

No. 1

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・質疑・反対討論・賛成討論・その他()		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
	<p>この4年間、すべての定例会において一般質問をしてきました。今回、私にとって最後になるであろうこの9月定例会に臨むにあたり、これまでのやり取りの内容を振り返り、改めて問いかけたいと思います。特に、第5期の議員としてスタートをした最初の約半年というものは、文教ガーデンシティ事業一色というような感がありましたし、4年間を通じては市の最重要課題として人口減少問題が出口の見えないトンネルの中に入り込んでしまったかのように思えました。これらを一般質問の素材としてきましたが、必ずしもその答弁に納得したわけではなく、改めてその振り返りをする必要があると考え以下に質問をいたします。</p>	
1. 文教ガーデンシティ事業について	<p>この事業が中止になったことについて、市長にはその「失敗の本質」を問いかけたが満足な回答は得られなかった。改めてここで検証し、いくつかの点について明らかにしておくことが必要であると思ひその見解を求めることとする。</p> <p>この事業に関わるいくつかの事象を挙げ、そのことをどのように考えるのかあるいは考えたのかのコメントをいただきたい。</p> <p>① 事業構想についての市民への丁寧な情報提供や理解を深めるための説明が充分になされていなかったと思われること。</p> <p>② 第2次総合計画に掲げられたコンパクトタウン形成の象徴的な存在であった同事業について、その全体像が必ずしも明確ではなかったこと。特に、移住・定住を促すという目的のために、住宅地をどのように位置づけるのかという議論がされ</p>	市長 教育長

るべきであったが、それがないままに病院誘致との併行検討の扱いとなり、実質的には病院シフトが明らかであったこと。さらに類推すると、住宅地エリアを進めていくのに不都合な真実があったのではないかと思えること。

- ③ そうした不確実な構想と思えるなかで、事業として先行していた新中学校に対する基本的考え方が特異なものであったように思う。その点について触れるが、文教ガーデンシティ事業が中止となり、新中学校問題は仕切り直しをし、教育委員会の新たな方針により進められようとしている。文教ガーデンシティ事業の中でこだわったことと、今進められようとしている内容には明らかに差異がある。そのことについての説明が必要ではないか。

以下に中止となった当初構想で特異と思われた点を示す。

ア. 新中学校建設に関して、校地、建物の配置などに相当無理があったこと。

イ. 教科教室型という校舎型式は、随分以前に沖縄において最初に採り入れられたものといわれているが、その後、全国への普及、浸透の度合いは低く、絶対的優位な型式とは思えなかった。それにも関わらず、最後までこだわりを持っていたこと。

ウ. 対象となる保護者の新中学校待望論は多くあったように思える。ただ、「統合により生徒間の競争が生まれる」

「部活動の充実がなされる」などの意見は生徒集団を大きくする統合には賛成ということは読み取れたが、新しい建物か既存の建物の活用かについての意見は分かっていたように思う。また、「新しい建物の中学校に通わせたい」という極めて純粋な意見が多くあったことも承知をしている。「3地区の中学校を統合し新中学校とする」とこと、「新たな地に建物を新築するのか既存建物を活用するのか」といったことの議論の最終決着がされていない状況で、文教ガーデンシティの中核的な事業として新中学校が位置づけられていなかったか。

- ④ 第2次総合計画は、前期計画がスタートした直後に文教ガー

デンシティ事業が中止となり、そのことを理由に計画は見直された。策定した計画がそのとおりに進まなかったため途中で書き直すということに関しては未だに納得のできないものがある。

第2次総合計画における文教ガーデンシティ事業の位置づけはどのようになるのか。計画を書き直したことにより、事業構想そのものの存在がなかったことになるのか、象徴的な事業としてその構想は存在したが議会で否決されたため消滅し、従って総合計画を書き直し、その部分を除外したとするのか。

- ⑤ 文教ガーデンシティ事業は、中核となる新中学校関連予算が否決されたことにより中止となった。その後、構想の中にあつた新こども園はすでに完成し運用開始がされている。住宅地との併行検討であつた病院については中伊豆白岩地区への建設が決まり粛々と進められている。新中学校についても教育委員会の方針として日向地区への建設が進められようとしている。こうした事例を捉えて、「否決された文教ガーデンシティのかたちを変えた再現ではないか」という市民意見がある。このことについてどのように説明するのか。

2. 人口減少問題について

人口減少問題については、何度となく採り上げたが、残念ながら明確な処方箋が見出せたとはいえない。現実問題として、人口減少は確実に進んでおり、第二次総合計画で目標とした数値の実現はかなり難しい状況となっている。

繰り返すことになるかもしれないが、以下の点についての見解を求める。

- ① 「移住・定住政策」「子育て政策」といった人口減少問題に寄与すると思われる一部の政策は、それぞれの担当部署の努力でひとつのかたちになってきていることは評価されるべきものと思っている。個々の政策の成果が出始めているということの理解はするも、全体として満足できるものにはなっていない。つまり、結果として人口減少に歯止めがかからない状況が続いているがこのことをどのように考えるか。

- ② 市として、最重要の課題と認識しているのであれば、結果を

市長

しっかり出せることが期待できる政策を講じることと、それを実現させるための態勢を整え、市内外に強くアピールすることが必要ではないか。

例えば、

- ・市長を先頭に幹部職員を中心に庁内組織全職員が自らの職務に加え人口減少問題は統一した最重要の課題であると認識し、組織が一丸となってこの問題の解決に向けての本気度を出すこと。
- ・人口減少がもたらす市民生活への影響をしっかりと市民に説明し、この問題を解決するための予算措置の理解を求めた上で納得性のある果敢な政策を打つこと。
- ・市外の人から見ても、「伊豆市は魅力のある優位な政策を掲げ、人口減少問題に取り組む本気度は他の市町を圧倒している」「そんな魅力的な伊豆市に住んでみたい」というような評価を得られる状況をつくること。

などが必要ではないか。

かつての答弁では、「人口減少危機宣言のようなものは発出しない」「それぞれの部署がしっかりと対応すればよい」ということであった。市民を巻き込んで市長以下市の職員が本気を出し、持続可能な伊豆市を作り上げるという気概を見せる必要があり、そのレベルでは圧倒的な力不足と思うがいかがか。

3. 庁内組織のありようについて

庁内組織のありようについては、活力ある機能的な組織であるべきとの問題意識から質問をしてきている。その中で、内部統制やコンプライアンスの取り組みについて、検討を進めるとの答弁を得ている。現時点における進捗状況はどのようになっているのかをお聞きしたい。

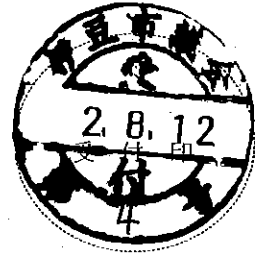
さらに1点だけ、何度も申し上げてきた議会事務局と監査委員事務局の兼務解消問題を今後どのように考えていくのかを改めてお聞きしたい。この件に関しては、議会改革の一環として、議会事務局の機能強化という観点から、兼務解消について議長から市長に対し要請をすることとした。私は、そのことも含めながらコンプライアンス上疑義のある重要な問題をいつまでも放置することなく早期に解消すべきと思っている。

市長

<p>4. 市内産業の活性化について</p>	<p>市内産業の活性化、振興の取組みについては、伊豆市の活力を維持するために極めて重要なものであり、基幹産業と位置付けられる観光業をしっかりと支えること、市民の日常生活に欠かせない飲食業を始めとした社会インフラともいえる市民に密着した中小の商店経営を棄損させないことが今回のコロナ禍の中で改めて課題として浮かび上がったと思う。</p> <p>① 平成 30 年 3 月には、中小企業・小規模企業等振興条例が制定されたが、これは伊豆市の中心となる産業をしっかりと支えていくという市の方針を明らかにしたものと思う。その条例に基づきどのような行動をとって来たのか、あるいは政策的に進めたもの、進めようとしているものがあるのか。</p> <p>② DMO である伊豆市産業振興協議会という組織がある。観光協会、旅館組合、商工会、JA などを主要な構成団体として、観光地域づくりのかじ取り役を担う組織と認識しているが、この組織の運営資金や事務局運営のための人材投入、そして協議会のトップを市長が兼務するというかたちで、市のこの組織に対する関与度合いは相当高いものになっている。設立時に目論んだ機能がしっかりと発揮されているのかを問いたい。</p> <p>③ 議員発議により、平成 31 年 3 月にいわゆる「乾杯条例」を制定した。日本酒・ビール・ワインという三酒の蔵元がそれぞれひとつずつあるという全国でも稀な当市において、産業政策上の観点ではこの資源を活かさない手はないという発想から提起したものだ。産業振興の一助となり得るものであるという確信を持っているが、これをうまく機能させる方策を是非考えていただきたい。</p>	<p>市長</p>
------------------------	--	-----------



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2年 8月 12日

伊豆市議会議長 様

議席番号 14 議員名 杉 山 誠

No. 1

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・質疑・反対討論・賛成討論・その他()		答 弁 を 求 め る 者
発 言 の 要 旨		
件 名	内 容	
1. 若者・女性の声を市政に反映させる仕組みづくり	<p>人口減少が続く中でどうすれば若い世代を呼び込むことができるか、また、転出を減らすことができるのかが問われています。</p> <p>1月末に公表された2019年の人口移動報告で、埼玉、千葉、東京、神奈川で構成する東京圏は、転入者が転出者を14万8784人上回る「転入超過」で、東京圏の転入超過は24年連続、超過分の約9割は15歳から29歳までの若い世代です。</p> <p>政府の分析によると、この中で地方出身の女性は、進学や就職でいったん東京圏に転入すると定着する傾向が男性に比べて強く、結婚・出産後も地元に戻る動きが少ないとされています。</p> <p>幾つかある理由の中で見過ごせないのは、東京へ転入した女性の多くが、ふるさとの企業では「将来性が見込めない」「希望する仕事がない」「責任ある仕事を任せてもらえない」「賃金が安い」などマイナスのイメージを抱いているとされ、女性が住むことを敬遠する地域に、男性や子育て世帯が積極的に移住することは考えにくいのが現実です。</p> <p>このため、若者・女性が活躍できる環境づくりは極めて大切と考えます。少子高齢化と人口減少が進む今、将来を担う「若者」の力を引き出す取り組みが欠かせません。</p> <p>今全国の自治体では、愛知県新城市の「若者議会」をはじめとして千葉市の「子ども・若者サミット」、長野県下諏訪町の「しもすわ未来議会」、「多摩市若者議会」、鳥取市の「とっとり広聴レンジャー」、湯沢市の「若者や女性が輝くまちづくり推進条例」、龍ヶ崎市の若手職員による「定住促進プロジェクト」など、積極的にまちづくりに若者の声を取り入れる仕組みを築いている自治体があります。</p> <p>なかでも平成29年6月定例会の一般質問で紹介した新城市の若者議会のように、1,000万円の予算提案権を付与してまちづくりに反映している自治体もあります。</p> <p>当市では子育て支援策など、他市町と比べて遜色のない取り組みを行っていますが、市の将来を担う若者たちにとって魅力あるまちづくりを進めるために、若者・女性の声を市政に反映させる仕組みを強化してはいかがでしょうか。</p>	市長

件名	内容	答弁を 求める者
2. 「田園回帰」志向をとらえた移住・定住策の積極的な推進	<p>都市部の住民が地方の農山村に移り住む「田園回帰」現象が広がりをを見せています。おりしも、コロナ禍の影響でテレワークの普及が進むことにより、この流れに拍車がかかり、農村地域の再生を後押しする動きも出てきました。</p> <p>農林水産省によると、3大都市圏を除く36道県1264市町村のうち、2012年から2017年までの6年間に、1年間だけでも「転入超過」がみられた市町村は、全体の約4割となる35道県の509市町村に上るとのことです。</p> <p>従来、地方への移住者はシニア層が中心で、定年退職後のセカンドライフを楽しむ目的の人が多かったのですが、2008年のリーマン・ショックや2011年の東日本大震災以降、若者を中心に価値観が多様化し、子育て中の若い夫婦や一流大学出身者らが、豊かな自然との共生や「農」との関わりなどを望んで地方に向かう動きが出てきたとされています。</p> <p>2018年に総務省がまとめた田園回帰に関する調査研究報告書では、「田舎の田舎」である過疎地域で都市部からの移住者が増加した傾向がみられ、今年6月に公表された2019年度の「食料・農業・農村白書」では、新しいビジネスモデルやイノベーションが生まれる課題先進地域として、農村に注目する若者が増えており、都市部から農山漁村へ移住しようとする流れが広がっていることが紹介されています。</p> <p>また東京都心にある「ふるさと回帰支援センター」の利用者は毎年のように増え続け、10年間で10倍以上となり、相談窓口には来訪者が連日、面談などに詰めかけているとのこと。</p> <p>この、地方への回帰を求める時代の流れをしっかりとらえ、当市の活性化・人口減少対策の一つに取り込むことが必要と考えますがいかがでしょうか。</p>	市長
3. コロナ禍で懸念される、子どもの定期予防接種の遅れへの対応	<p>新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、子どもの定期予防接種を控える動きがあり、適切な接種時期から遅れば、それだけ子どもが病気にかかるリスクも大きくなることから、小児科医からは懸念の声が上がっています。</p> <p>定期予防接種は、定められた対象期間に受ければ公費負担ですが、期限を過ぎると「任意接種」の扱いとなり、全額自己負担となります。</p> <p>厚生労働省では未接種の子どもを救済するための対応として、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、「相当な理由がある」と自治体が判断した場合は、定期予防接種の期間延長を認めても差し支えないとしています。当市の対応はいかがでしょうか。</p>	市長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和2年8月11日

伊豆市議会議長 様

議席番号 12 議員名 小長谷朗夫

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		発言の要旨	答 弁 を 求める者
○一般質問		質疑・反対討論・賛成討論・その他()	
件 名	内 容		
1 今後の伊豆市教育行政推進について	<p>令和2年6月30日付けで辞職しました前教育長の後任として7月1日より新たな教育長として梅原賢治氏が就任しました。就任にあたり議会で簡単な挨拶をいただきました。その折には時間の関係で十分な考えを聞けませんでした。そこで就任以来1か月半が経過し、伊豆市の教育行政のトップとして思うところがあると考え(学校教育、社会教育両面にわたって)、ここで新教育長としての所信を市民の皆様に広く述べていただきたいと思えます。</p>		教育長
2 給食無償化の今後の行方	<p>前々回の3月議会に(2月25日に)おいて2件について一般質問させていただきました。その1件目が「学校給食無償化を考えませんか」2件目が「土肥地区での『山村留学』実施は考えられないか」両件とも移住定住を目的とし、少しでも人口減少に寄与できるという発想からの質問でした。両件とも大変難しい課題ですので、敢えて「今後考えていきませんか」というスタンスで質問させていただきました。</p> <p>今回、一連のコロナ対策では、最初に打ち出した予備費1億5千万円の歳出として宿泊施設、飲食店への「感染拡大防止」を目的とした協力金、もう一つが1学期間の「学校給食の無償」3000万円が報告されました。</p> <p>前述したように学校給食を無償化してはいかがでしょ</p>		

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>うか。と提案した関係でこの用途については望むところで大いに期待しました。しかし考えてみると、3000万円を学校給食に歳出するという結果の報告はありましたが、「なぜか」という説明はなかった気がします。(覚えがないのは私だけでしょうか?) 3月議会では教育委員会(教育長)は通常の答弁でよく使われる「検討します」の域を超えて、簡単に言えば「教育的ではない」という姿勢を述べました。</p> <p>そこで今後の学校給食の行方、在り方を考えるために市長、教育長に伺います。</p> <p>まず初めに市長にお尋ねします。</p> <p>① 1学期間の給食費無償は、コロナ対策の一環として考えたとき目的はどういうことでしょうか。</p> <p>② 教育委員会とのすり合わせをした結果でしょうか。</p> <p>③ この補助は今回で終わりでしょうか。</p> <p>次に3月議会での一般質問「学校給食無償化を考えませんか」の答弁内容について教育長にお尋ねします。</p> <p>④ 最初に学校教育において学校給食をどのようにおさえていますか。見解を述べてください。</p> <p>⑤ 3月議会での一連の答弁内容は西井前教育長の私見を含んだものと理解しているが、梅原教育長はどのように理解していますか。</p> <p>⑥ 今後、無償化は本市では難しいと考えるのか、今後一歩前進するための検討が行われるのか。いかがでしょうか。</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p>



議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2年 8月12日

伊豆市議会議長 様

議席番号 10 議員名 永岡 康司

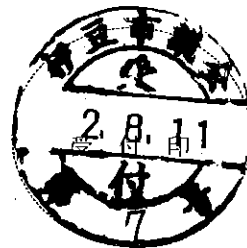
No. 1

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
伊豆総合高校土肥分校の現状と課題について	<p>土肥地域での人口の減少と少子化は際立っており、現在は3,482人、過去7年間で748人(17.7%)の減少、高齢化率も40.6%に達しています。そんな中で子どもの数も年々減少して、土肥分校への入学者数は、一年生が8名・2年生が18名・3年生が5名・合計31名となって、このままだと生徒募集停止となることが予想されます、つまり閉校になるかもしれない。これは重要な問題だと考えます。</p> <p>現在、土肥分校では、遠方からの入学を希望する生徒(長期欠席生徒選抜入試制度)を募集していますが、応募は有るが通学の問題で入学を断念している様です。この様な中で、土肥高卒業生や後援会また学校関係者が、県外を含む地域外から希望する生徒をより多く受け入れようと「土肥分校下宿運営協議会」を発足させ、「土肥留学」と称し、広く募集した生徒を土肥地区に下宿してもらい、土肥分校の存続と、地域の活性化を図ろうとしています。</p> <p>生徒の入学の現状と生徒募集停止に成るかも知れない問題をどの様に考えていますか。</p> <p>地域活性化のひとつとして、「土肥留学」の中心的な役割を担う土肥分校下宿運営協議会の活動を今後、伊豆市は支援していく考えはありますか。</p> <p>また、下宿先として1人から複数名を受け入れ可能な施設の改築等の支援は有りますか。</p>	市長 教育長



議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和2年8月11日

伊豆市議会議長 様

議席番号 11 議員名 小長谷順二

No. 1

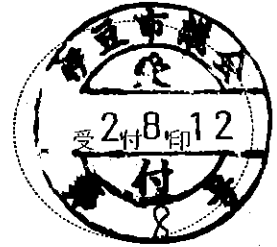
発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. With コロナ・ポストコロナがもたらす新しい生活様式	<p>新型コロナウイルス感染症の急激な拡大とそれへの対応は、「新しい生活様式」の誘因となり、われわれの生活・社会・経済をも変えるおおきな転換点になってきています。こうした感染症の根絶は将来も決してできるものではなく、人類は覚悟をもって感染症と共存していくことが求められ、「With コロナ・ポストコロナ」の時代にどのように経済社会を営んでいくかが問われています。</p> <p>社会経済活動を制限することは正常な姿ではありません。休業要請などによって疲弊した経済を元に戻すには、事業者の活動を再開させる必要がある一方、市民の生命・安全は絶対守らなくてはなりません。事業活動が再開されれば、人の移動も出てくるため、密集・密接となり第2波、第3波が懸念される中、国が示した「新しい生活様式」を徹底させ、感染拡大を防ぎ、経済活動を通常に戻すという「アクセルとブレーキをどう加減するか」が悩ましいところです。</p> <p>新しい生活様式の取り組みの中で以下の質問を致します。</p> <p>1) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立を図るため、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を実施する小規模企業者への助成について</p> <p>2) 観光客が市内滞在中にコロナウイルスの感染が疑われた場合の対応について</p> <p>3) コロナ禍の状況でテレワークの推進や地方でのサテライトオフィスの設置、BCP（事業継続計画）としての拠点分散の推進は、東京一極集中の是正に効果があるとされています。地方創生という中・長期</p>	市長 教育長

<p>2. 台風シーズンを迎える避難所運営について</p>	<p>的な視点に立った場合のピンチをチャンスに変える施策の検討状況について</p> <p>4) 教育新聞の記事「対面指導とオンラインのハイブリッド化 文科省が提示」によれば、感染症が収束していない「With コロナ」段階では、教師による対面指導とオンラインとの組み合わせによる新しい教育様式を実践する一方、感染症が収束した「ポストコロナ」段階では、教師が対面指導と家庭や地域社会と連携したオンライン教育を使いこなし、ハイブリッド化したかたちで協働的な学びを展開する姿を描いているとのことです。伊豆市における今後のまちづくりとオンライン教育について</p> <p>独自に「避難所運営方針」策定に動く自治体では、避難者が密接しないスペースを確保するため、発生が予測される災害と避難者数などを事前に把握し、「臨時避難所」も含め、できる限り多くの避難所を選定・確保するよう促しています。また避難所内のレイアウトも、飛沫感染を避けるため、「段ボールベッドや布団の配置を互い違いにする」、食事に関しては「時間をずらして密集・密接を避ける」などが指針として書かれています。</p> <p>避難所の過密状態を防止するための具体的な対策方法としては、「在宅避難や親族・友人宅などへの避難を優先するよう周知すること」新型コロナウイルスによって避難のあり方も「分散避難」重視へと変わりつつあるので以下の質問を致します。</p> <p>1) 伊豆市の「新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針」の策定について</p> <p>2) 災害時に開設される市内の避難所へ感染予防対策としてのパーテーションやアルコール、マスク、非接触型体温計、段ボールベッド、簡易テント等の備蓄状況について</p> <p>3) 分散避難の検討状況について</p> <p>4) 感染が疑われる避難者への対応や移送、保健所や医療関係者とも連携したさらなる体制の整備が求められるが現状について</p>	<p>市長</p>
-------------------------------	---	-----------



議長許可

発言通告書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2年 8月11日

伊豆市議会議長 三田 忠男 殿

議席番号 15 議員名 森 良雄

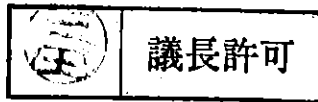
No 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他 ()
発言の要旨		答弁を 求める者
件名	内容	
防犯カメラ	防犯カメラについては毎回、質問しています。	市長
	防犯カメラは日々、進歩しています。 AIの装着など	
	防犯カメラの一層の進化が、変化がうかがえます。	
	伊豆市は地域力を重視しているようですが。	
	地域力を否定するものではありません。	
	防犯カメラは犯罪抑止力が優れています。	
	犯罪抑止力に大きな効果があることについて、その抑止力は半端ではありません。このことを市長はわかっていますか。	
	地域力の一層の向上をはかりませんか。	
	防犯カメラで地域力の一層の向上をはかることができます。	
	防犯カメラで地域力をより一層高めませんか。	
	市長は防犯カメラなしでも犯罪捜査が成り立つと考えていますか。防犯カメラは犯罪捜査でも高い効果を発揮しています。	
	リレー方式は防犯カメラの利用方法です。主流となっています。	
	多数の防犯カメラが設置されていて成り立つものです。	
	現在、伊豆市には何台の防犯カメラが装備されていますか。	
	防犯カメラは災害時にも有効です。	
	先の豪雨災害では国土交通省のカメラが増水の様子をTVで報道していたのは記憶に新しいところです。	
	最近少なくなりましたが行方不明者の捜索にも威力を発揮します。	
	最近は行方不明者が少なくなったのでしょうか。	

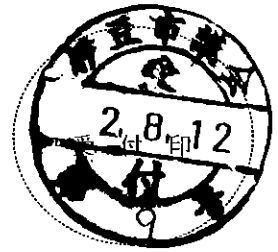
件名	内容	答弁を求める者
働き方改革	新型コロナは働き方改革を一層進めます。	市長
	改革なくして、コロナ対策もありません。	
	伊豆市の人口減少は止どまることを知りません。	
	とうぜん、市の職員の人数も削減されるでしょう。	
	しかし、仕事量が増えることはあっても減ることはありません。	
	前回の質問に対し次のように答えています。	
	障害者福祉業務はクラウド化します。	
	現在、伊豆市では単独運用している障害者福祉業務は、今年	
	11月から電算センターへ移行し、合わせてクラウド化する	
	予定です。	
	このように答えています。	
	予算書や決算書からはここで言っている障害者福祉業務を何か	
	伺い知ることはできません。	
	ここで言う障害者福祉業務とはどのようなものですか。	
	データを電算センターに送ることだと思いますが、どんな	
	データでしょうか、説明いただきたい。	
	簡単なコンピュータ処理だと思いますが、今まで伊豆市で	
	処理していた理由はなんでしょうか、特別なソフトや機器を	
	使っていたとは思えません。	
	この業務の説明を求めます。	
	業務の電算センターへの移管に伴い端末の整備は必要ですか。	
	それとも現在、使用している端末で移行できるのでしょうか。	
	他にもクラウド化を考えている業務はありますか。	
	クラウド化を考えている業務がありましたら伺いたい。	
	三島市・伊豆市・伊豆の国市の3市の電算センターにおける	
	68業務のうち、16業務は伊豆市独自の処理をしています。	
	今回はそのうちの障害者福祉について伺いました。	
	障害者福祉業務以外にも電算センターへの移行を考えている、	
	クラウド化を進めている業務がありましたら伺いたい。	

件名	内容	答弁を求める者
アーカイブス	伊豆市のアーカイブスについて伺います。	市長
アーキビスト	アーカイブスについては説明が必要ですか。	
	アーカイブスについては2回目の質問です。	
	一回目は当時の市長は「アーカイブスとはなんだ・・・」	
	との返答で質問になりませんでした。	
	公文書の管理について、保存について質問します。	
	あわせて、公文書をどのように管理するかについても質問します。	
	アーキビストについても伺います。	
	伊豆市の公文書の管理は廃棄をどうするかに重点を置いてい	
	ます。アーキビストは公文書の保存をどうするかについて考える	
	専門家です。	
	公文書がどんどん廃棄されていることに危惧を感じています。	
	公文書は将来、伊豆市の研究をする時に必要な資料となるもの	
	です。研究をしたくとも、歴史を考察したくとも資料がなければ	
	何もできません。	
	現状の公文書の管理方法を伺います。	
	どのように管理しているか伺います。	
	公文書の管理をどのようにしているか、専門家はいるのかどう	
	かも伺います。	
	公文書を保存するかどうかは何処の誰がどの時点で判断してい	
	ますか。伺います。	
	公文書はどんどん増えていきます。どうしても廃棄を前提に考	
	えるようになりますが、後世の考察には保存を前提に考える	
	べきですが、市長の考えを伺いたい。	
	そのためにはどのようにするかも伺いたい。	
	アーキビストについても考えがありましたら伺いたい。	
	学校教育の現場でもたくさんの歴史的な資料が廃棄されてい	教育長
	ます。保存の必要性を考えませんか。	
	教育長の考えを伺います。	

件名	内容	答弁を求める者
修善寺南小学	修善寺南小学校のトイレは汚い・臭いと言われています。	市長
校のトイレ	市長、教育長に実際にトイレを見ていただきたい。	教育長
	そして感想を伺いたい。いかがでしたか。	
ウイズ	新型コロナの対応で教育界は大変な思いをしたことでしょう	教育長
コロナ	同様に、子どもたちもコロナの荒波に翻弄されたことでしょう	
	災害時には子どもたちの心のケアをする専門家がおりますが	
	今回のコロナ騒ぎでは子供たちに精神的な動揺はなかったで	
	しょうか、とくに、小学1年生や中学3年生はどうでしょう。	
	勉強したくてもできない、大変な心の負担ではなかったかと思	
	います。	
	コロナに対する子どもたちの状況や対応について伺います。	
アフター	現在の伊豆市での教育の在り方についてはコロナよりも	教育長
コロナ	新中学校の建設で忙しいのではないのでしょうか。	
	コロナはこれからの教育の在り方についてもたくさんの指標を	
	与えてくれたのではないのでしょうか。	
	学業の遅れも心配です。どのように対応するか新教育長の考え	
	を伺いたい。	
	新型コロナは2次、3次の恐れもあります。	
	それに対する準備はいかがですか。	
	ICTの準備も大切です。準備はしていますか。	
	ICT（情報通信技術）の対策状況を伺います。	
	ネット環境を保有しない家庭の把握はしていますか。	
	コロナ後の学びは国家的な問題ですが伊豆市としてはどのよう	
	に対応しますか。	
	端末の一人一台配布、デジタル教材の取り扱いや整備、学級規	
	模の見直しについてどのように考えていますか。	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和2年8月12日

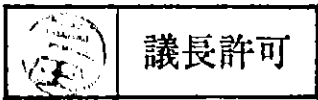
伊豆市議会議長 様

議席番号 6番 議員名 下山 祥二

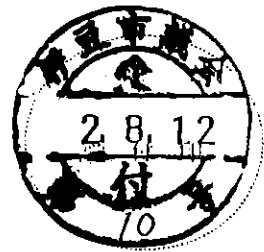
No 1

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・ 質疑・ 反対討論・ 賛成討論・ その他 ()		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 森林の再生と活用の取組みについて	<p>日本全国で毎年のように繰り返される豪雨災害や大型台風の影響は、開発途上国をはじめ地球上の森林破壊が進み、大気中の二酸化炭素の増加による地球温暖化が大きく影響していると言われています。</p> <p>5月4日「みどりの日」の静岡新聞の社説は「森林の再生と活用を急げ」というタイトルでした。</p> <p>「みどりの日」に、環境や防災に多大な役割を果たす森林に改めて感謝し、林業への関心を高めたい。という書き出しであり、その内容は改めて考えさせられるものでした。</p> <p>そこで、伊豆市の面積の82.7%を占める森林は環境、防災をはじめ観光、さらにわさびやシイタケなどの特産品の栽培もその恩恵に与っています。そこで当市の森林整備に対する取組状況について質問いたします。</p> <p>① 市内の森林を取巻く環境、そしてその現状と課題について伺います。</p> <p>② 現状と課題を把握した上で、将来的に森林整備の目指すべき姿についてどのように考えますか。</p> <p>③ 林業従事者の人材育成・確保について具体的な施策はありますか。</p> <p>④ 県内各地の林業関係者から県に対し「森づくり県民税」の継続についての要望記事を散見します。森づくり県民税が継続されない場合、伊豆市森林整備計画にどのような影響がありますか。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2. 公共施設の適正管理と今後のあり方について	<p>市内の宿泊業や飲食業をはじめとする多くの施設と同様に市内公共施設についてもコロナ感染拡大の影響により利用者は減少していることと思います。公共施設という観点から感染防止対策を徹底して細心の注意を払いながらの管理運営がなされていることと思います。</p> <p>そこで「新しい生活様式」、ウイズコロナを意識した上で、今後の公共施設のあり方について伺います。</p> <p>① 市内に多く存在する観光施設、スポーツ施設についてコロナ感染防止対策を考慮した結果、今後の運営形態を見直す考えはありますか。</p> <p>② その他の公共施設について、コロナ感染防止対策と自然災害に備えた適性管理またはその運営について再考し、再配置計画を再検討する考えはありますか。</p>	市 長 教育長



発言通告書



下記のとおり発言したいので通告します。

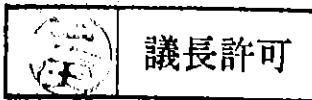
令和2年8月12日

伊豆市議会議長 様

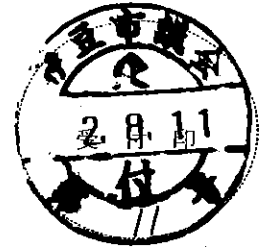
議席番号 13 番 議員名 西島信也

発言の種別		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()	
		発言の要旨	
件名	内容		答弁を求める者
1 伊豆市都市計画の見直し	<p>伊豆市(旧修善寺町)は、2017年に田方広域都市計画区域から脱退し、単独の都市計画区域となり、いわゆる線引きを廃止しました。</p> <p>そして、市域全体を対象にした一体的で均衡ある土地制度を完成させるため、2020年度末を目標に、都市計画区域外の土肥、天城湯ヶ島、中伊豆地区を含めた市域全体を都市計画区域に指定するとしています。</p> <p>そこで、次の事柄についてお尋ねします。</p> <p>① 用途白地地域(従前の市街化調整区域)に特定用途制限地域(幹線道路沿道地区、里山環境共生地区)を設定することのことだが、これの分かりやすい説明。</p> <p>② 土肥、天城、中伊豆地区に地域生活地区を設けるとのことだが、これの説明。</p> <p>③ 土肥、天城、中伊豆地区では、特定用途制限地域が地域生活地区、幹線道路沿道地区、里山環境共生地区の3種に分類している。</p> <p>しかし、修善寺地区では地域生活地区に該当するところが、住居地域・商業地域・工業地域等7つの地域に分類されている理由は何か。</p> <p>④ 修善寺以外3地区には、商業地域・工業地域が設けられていないがその理由を伺いたい。</p> <p>またこのことは、同地区の商工業の衰退は当然の結果と</p>		市長

件名	内容	答弁を 求める者
	なり、市で進めている企業誘致は天城・中伊豆・土肥の3地区では、事実上不可能になると思われるが、いかがお考えか。	
	⑤ 伊豆市全域を都市計画区域に指定することにより、都市計画税を導入することになるのか。	
2 クリプトス ポリジウム 原虫の発生	熊坂の上水道施設の取水井戸から、クリプトスポリジウムという人体に感染する寄生虫が検出されたとの報告が数カ月前にあったが、その後の経過等について次のとおりお尋ねします。	市長
	① クリプトスポリジウム原虫が検出された経過とその原因 ② 人体への感染予防対策の計画及び水道施設の改良計画の有無	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和2年 8 月 11 日

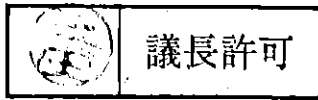
伊豆市議会議長 様

議席番号 16 議員名 木村建一

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問	質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容		
1. コロナ禍の休校要請に対する教育委員会の検討過程について	<p>教育委員会は2月27日の安倍首相の「新型コロナウイルスへの対応一斉休校要請」をどのように受け止め、実行したのか説明を求めます。休校で子どもたちに与える影響、仕事をしている親たちの事情をどう把握されたのでしょうか。</p>		教育長
2. コロナ禍での「より良い学校教育環境」への課題	<p>全国知事会などは現在の40人学級ではコロナウイルスの感染が予防できないとして、文部科学大臣に少人数学級の実現を求める緊急提言を行いました。また、「骨太の方針2020」に「少人数によるきめ細かな指導体制」が初めて盛り込まれました。</p> <p>①教育研究者が「30人学級、その後速やかに20人程度の学級」を求めています。そのためには正規の教職員を増やす必要があります。伊豆市は少子化が進み40人学級は課題にもなっていませんが、少人数学級への教育委員会の見解を求めます。</p> <p>②コロナ感染症対策のための消毒作業は、今でも多忙な教職員負担とせず、専門業者に依頼しませんか。</p> <p>③新中学校建設などで、コロナ感染症から生徒たちの心と体の健康を守ることを何よりも優先することが求められています。新しい生活様式を新中学校にどのように取り入れるのか、前議会での答弁の上にとって生徒間の身体的距離をどう設定しますか。</p>		教育長
3. 観光関連の経済とコロナ対策を両立させる方針は	<p>新型コロナウイルス感染症への4月の取り組みは、コロナ感染から市民の命を守ることと営業支援を実行しました。当時よりも今、新型コロナウイルスの感染拡大は憂慮すべき事態だと思います。命と市内経済の両立をどうするのか、とりわけ観光関連業者への対応をどのように考えていますか。</p>		市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
4. 準要保護世帯への就学援助対象を広げることに対する見解を求めます	平成 29 年 6 月議会では、就学援助対象となっていないPTA会費、生徒会費、クラブ活動費は、支給することを踏まえ検討すると答弁しましたが、改めて支給することを求めます。	教育長 市長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和2年 8月 12日

伊豆市議会議長 様

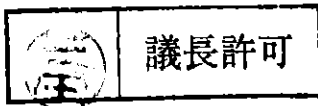
議席番号 1 議員名 波多野 靖明

No. 1

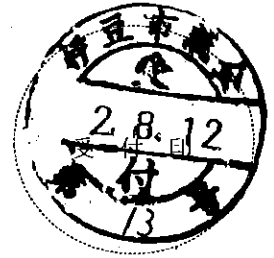
発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 伊豆市のエネルギー資源について	<p>毎日のように家に職場に明かりをともしてくれる電気は、主に大きな電力会社で作られ、各家庭、職場や工場に運ばれていきます。しかし、その電気を作る為の資源のほとんどが海外から調達し、中東の政治情勢やテロ問題、大国間の生産調整により価格の変動も大きく影響を受けます。</p> <p>私は、日本でも何らかのエネルギー資源があり、エネルギーの地産地消が盛んになることは国民全体にとって大きな利益になると考えます。</p> <p>どこでも平等に空から降り注ぐ太陽光もエネルギーの一つです。しかし、太陽光発電は住宅の屋根や、工場の屋根に設置するなら他人に心配や迷惑を掛けることは少ないと思いますが、大きな敷地に何千、何万という枚数のパネルを設置する大規模な発電所は、自然に降る雨の流れを大きく変えることになり、近隣に住む住民に様々な不安を与えることとなります。</p> <p>そこで、太陽光よりも安定して取得できる水力発電は地産地消の可能性が大きいと感じています。高低差のある現在の河川や、勾配の付いた農業用水を利用した、河川の濁りの心配も少ない小水力発電事業を進めることは多くの市民の利益に叶うと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>また、最近では経済産業省、環境省、国土交通省等で、</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>2. 区、自治会組織 の存続について</p>	<p>水素エネルギーの活用や普及促進の為に、地方自治体への補助金が提案されていることを知りました。</p> <p>個人的に聞いた話では、水素の取り扱いは難しいとも、簡単とも聞いています。</p> <p>未だ、確立されたエネルギーではありませんが、将来のエネルギーとして水素が普及してきたとしたら、伊豆市でも早くから、水素への関わりを持つことは長期的に考えると、伊豆市の財産になるかもしれないと考えます。</p> <p>伊豆市でも水素活用に向けた取組みは、現在考えられるのかお伺いいたします。</p> <p>先日、ネット記事で若者の〇〇離れランキングというものを目にしました。</p> <p>ランキング順に幾つか述べますと、たばこ離れ、新聞離れ、ギャンブル離れ、ゴルフ離れ、恋愛離れ、車離れ、ゲーム離れ、結婚離れ、カラオケ離れ、お酒離れとありました。</p> <p>しかし、最近では私達が暮らす上で身近であるはずのコミュニティの町内会離れ、自治会離れというものが若者に限らず増加傾向にあると新聞記事で読みました。</p> <p>市内の数カ所の地区にしても、役員のなり手がいない、役員が嫌で自治会から脱会したと聞いたこともあります。</p> <p>区長を年功序列で受ける予定であっても、その年代の方が拒否をすると、働く現役世代が区長、町内会長などの大役を引き受けることも多くなってきて、数日仕事を休む、月に何度も早退をしなければならないと聞きます。</p> <p>このような状況が、市内でも起きているのです。</p> <p>町内会や自治会役員の負担が大きくなり、役員のなり手が存在しなくなり、役員不在のまま、町内会等の存続が出来なくなるのではないかと心配になります。</p> <p>私自身、相談に乗りながら、自分で調べても「とにかく</p>	<p>市長</p>

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>頑張るしかない」という結論になりそうです。しかし、「これ以上は続けるのは難しい」という声を役員さんから聞くと、これ以上「頑張って」と声を掛けることは難しい。</p> <p>この機会に、一度は休会をすることも有りなのかと考えてしまいます。</p> <p>現在、伊豆市行政として考えられる対応策等があれば教えてください。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2年 8月12日

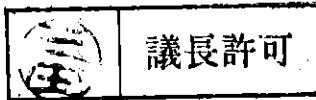
伊豆市議会議長 様

議席番号 9 議員名 青 木 靖

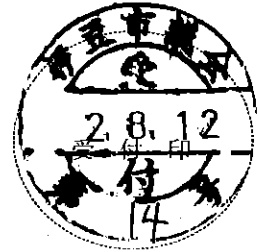
No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問	質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容		
1. コロナの影響 で遅れている事業 と見通し	<p>新型コロナウイルス感染拡大は、未だに予断を許さない状況にあり、国・県をはじめ、当市においても、行政・事業者・各個人が、今後ともそれぞれ対策に注力しなければならないと考えます。</p> <p>一方で、当市の今年度予算で予定されていた事業は、精査された必要な事業であり、コロナ禍にあっても、優先順位をつけながら進めていくべき事業が多く含まれているはずで</p> <p>現在、伊豆市令和2年度の事業について、新型コロナウイルス感染症の影響をどのように把握・分析し、対応しようとしているのか伺います。</p> <p>①感染拡大防止の観点から、当初の予定通り実施できない、又は対策を講じながら規模を縮小するなどしている事業については、その影響をどのように評価して今後どのように対応していこうとしていますか。</p> <p>②国・県の補助金事業で、コロナの影響で補助金の交付に遅れや変更が生じ、当市の事業に影響が出ているものはどの程度ありますか。又、今後の見通しは。</p>		市 長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>③特に建設・土木関連の事業について、工事が止まっているように見受けられますが、その原因としては、補助金の遅れ等、予算の問題なのか、又は工事そのものを実施する上で感染拡大防止に対応するための問題があるのですか。</p> <p>又、現時点で補助金等の予算上の今後の見通しについて、どのように捉えていますか。</p> <p>更に、その他の要因については、事業を進める上での課題と対応はどう考えていますか。</p>	
	<p>④現在のコロナウイルス感染症の影響下で、秋からは来年度予算の編成に入る時期になります。今年度のこれまでの状況を踏まえて、今年度のこれから、更に来年度、どのように事業の優先順位を考えていくのか、現時点での基本的な考え方を伺います。</p>	
	<p>⑤人命優先、医療体制の維持、経済への対応が重要であることは当然であると思いますが、現在のような先の見通しの見えにくい時期であるからこそ、市民の不安感を緩和するために、それらを含め、市の事業の今後の見通しについて、報告・公表していくべきと考えますがいかがですか。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2年 8月12日

伊豆市議会議長 様

議席番号 8 議員名 三田 忠男

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 行政施策立案時における議会・市民意見の取り扱いについて	<p>今までの総括として、今後の課題と認識している事項や解決策等について市長及び教育長に伺います。</p> <p>議会・市民要望意見の行政施策立案時における取り扱いについて伺います。市民代表としての議会の決議・請願・意見書等を行政施策にどう生かしてきたか、議会・市民からの要望を今後どう取り扱っていくのか伺います。</p>	市長・教育長
2. 各種施策の実現に向けて、議会と行政の関係について	<p>伊豆市の課題の共通理解・解決策構築の方向性確認のため伺います。行政施策を展開するに当たり、市民等から多種多様な要望・要求が存在すると思います。これらの要望等を踏まえ、より良い施策を展開するために必要な行政と議会の関係をどの様に考えているか伺います。</p>	市長・教育長
3. 各種施策の実現に向けて具体的な事業実施について	<p>これまで、議会は議案審議や一般質問の中で行政と協議をしてきましたが、人口減少問題等ある一定の項目を議題とした話し合いの場が無かったように思えます。今後はこの様な場の設定を必要と感じながら、以下の項目の事業について今後の具体的な事業実施予定を伺います。</p> <p>1) 人口増施策の展開について 2) ひとり暮らし高齢者等生活困難を抱えている市民の安心安全のセーフティーネットとしての医療・福祉・介護等について</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>3) 子育て環境整備としての保育・教育分野について</p> <p>4) 生活・暮らしの前提としての仕事の確保と所得向上策 地場産業育成としての観光業・農林業・商工業等の振 興策について</p> <p>5) 災害時の対応について（民有地の被災対応）</p> <p>6) 交通安全と伊豆縦貫道と生活道路網の整備について</p>	